

排尿支援員研修のカリキュラム

研修日	研修時間	内容
1 日目	3 時間程度	講義 ・ 滋賀県排尿支援プロジェクトについて ・ 排尿障害の基礎知識 ・ 排尿障害のアセスメント ・ 排尿障害の日常生活支援 ・ 排尿障害の評価方法 演習 ・ おむつ装着体験 ・ 福祉用具の展示 等
2 日目	3 時間程度	講義とグループワーク ・ 排尿ケアマネジメントの実際
3 日目	3 時間程度	実践報告会 ・ 排尿支援の実践報告と学びの共有

研修の様子

体験：正しいオムツの当て方



福祉用具の展示



講義



令和5年度近江八幡市主催研修の様子

受講者の声

- 排尿日誌を付ける意味と大切さを知った。
- グループワークで色々な職種の人たちの意見が聞け、とても勉強になった。それぞれの職種で考え方や捉え方がちがう。みんなでケアしていくことが大事だと感じた。
- その人にあったケアをするためには情報収集とアセスメント力のスキルアップが必要だと思った。
- 普段の業務で排尿に関する視点をもつことが大切だと感じた。
- オムツの当て方、使い方等、意味のある正しい使い方が大切だとわかった。
- 地域で啓発していきたい。
- 医療との連携をもっと活用するべきと思った。